

第22回秋田市地域公共交通協議会 議事要旨

開催の日時	平成28年3月3日(木) 午後2時から2時45分まで
開催の場所	ルポールみずほ2階「ききょうの間」
委員の定数	23名
出席委員	19名(うち代理出席6名)
会議内容	<p>・議事</p> <p>(1) 第2次秋田市総合交通戦略および第2次秋田市公共交通政策ビジョンの策定について【資料1～6】</p>
	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事</p>
会長	議事1「第2次秋田市総合交通戦略および第2次秋田市公共交通政策ビジョンの策定について【資料1～6】を、事務局から説明願う。
事務局	(資料に沿って説明)
会長	質問等はないか。
会長	資料2の戦略・ビジョン(素案)に対する意見の概要の説明で、ICカード、ICT活用、ゾーン制運賃等について既にビジョンに含まれているということであったが、対応方針の中にそのような説明を追記したほうが良いのではないか。
事務局	現在ご意見を参考にさせていただきますという回答のみになっているが、積極的に取り組んで行く旨が分かる表現に修正する。
会長	資料3の第2次秋田市総合交通戦略概要版および資料4の第2次秋

田市公共交通政策ビジョン概要版について、具体的にどのような使い方を想定しているのか。市民向けには内容は難しくないか。

事務局

概要版については本編を要約したもので、行政内で、例えば視察等の関係者に対して示すことを想定している。

市民向けには、A4版4ページ構成のリーフレットを作成中であり、こちらで対応していきたい。

委員

資料1のパブコメ・担当課意見を取り入れた修正対応のビジョンの変更点のうち、「乗継拠点の整備」の安全な通行環境の確保については、パブリックコメントにおける四ツ小屋駅に関する意見を踏まえ加えたものと思われるが、南部の乗継拠点に四ツ小屋駅も追加するのか。

事務局

南部地区の乗継拠点として主な拠点は御所野であるが、マイタウン・バスと鉄道の乗継拠点として当初から四ツ小屋駅も南部地区の乗継拠点に含まれている。安全な通行環境の確保については、四ツ小屋駅に限らず全ての乗継拠点を対象とする。

委員

乗継拠点周辺の道路の安全性が確保されていない箇所も多いため、各地域の乗継拠点それぞれの状況に応じて対応していくという認識で良いか。

事務局

それぞれの状況に応じ、周辺の道路の安全性についても確保していく。

委員

道路網の整備の中で、社会経済活動を支援する道路整備の視点は計画の中で示されているのか。人の動きだけではなく、物流に関する記述が必要ではないか。

事務局

資料5の第2次秋田市総合交通戦略57ページにおいて、上位計画における交通に関する方針の中に社会経済活動に関する視点が含まれており、それらをもとに目標Ⅲを設定しているため、盛り込まれているものと認識している。

委員

第2次秋田市総合交通戦略自体にも社会経済活動の文言が含まれて

いてもよいのではないか。

事務局

ご意見を参考にし、反映については検討させていただきたい。

委員

パブリックコメントの結果からも分かるように泉・外旭川地区への新駅設置について興味を持っている方が多いと思われるが、第2次ビジョンには設置を検討するとなっており、今後の予定は検討のみとなっているが、この協議会では新駅については方向性を示すのみで今後の実施に向けた検討は別途行うということか。

事務局

秋田市としてはぜひ整備していきたいと考えているが、難しい問題である。コンパクトシティを推進する中で、課題を解決しながら進めていきたい。

委員

資料6の第2次秋田市公共交通政策ビジョンの鉄道の利便性向上施策として掲げられている「パークアンドライドの導入検討」については、随分前から言われていることであるが、現状では秋田市ではあまり実現できていないと感じている。秋田市では具体的にどのように進めていくことを考えているのか。

新屋、追分、四ツ小屋、和田、河辺などにおいて実現するためにはもっと明確なビジョンをもって第2次ビジョンの中で本気度のある計画として検討するべきではないか。泉・外旭川地区への新駅設置よりも優先的に実施すべき施策と考えている。現状を教えてほしい。

事務局

和田駅については、駐車場を設置しており、パークアンドライドの利用があると聞いている。その他の駅については、駐車スペースが確保できていない状況である。今後は用地の確保を含めてどうすべきか検討を進めていきたい。秋田市外であるが、井川さくら駅については駐車場を設けており五城目から秋田市中心部へ来られる方が利用しているようである。市街地部の流入交通を少なくするためには有効な手段であるため、検討していきたい。

また、泉・外旭川地区新駅については、平成26年に需要調査を行っており乗車数2千3百人程度見込めるとしている。対象地区の利便性が向上し、経済活動も盛んになるものと考えている。

委員

資料1のパブコメ・担当課意見を取り入れた修正対応のスクールバ

ス等の活用の検討について、実施地域が「全地域」から「公共交通空白地域」に変更になっているが、実施期間は検討になっていることから、現在の秋田市には公共交通空白地域がないという認識で良いか。

事務局

バス交通が無い地域は公共交通空白地域という認識であり、市内においても数ヶ所存在している。ただし、空白地域の具体的な人口は把握していない。今後空白地域の方々の意見を取り入れながら、検討を進めていきたい。

会長

ほかに質問や意見がないようであれば、議事1について承認することの良いか

委員一同

承認する。

司会

4 その他

その他として委員又は事務局から何かあるか。

事務局

今後、第2次戦略については東北地方整備局、第2次ビジョンについては秋田運輸支局および東北運輸局を通じて、提出等の手続を進めていく。

会長

その中で軽微な修正が発生する場合には、会長と事務局で修正を行う旨を了承いただきたい。

委員一同

承認する。

司会

以上で本日の協議会を終了する。